

いのちの言の葉2009

富山県教育委員会平成21年度いのちのメッセージ発信事業

「いのちの大切さ」

富山市立神保小学校4学年児童
平成21年11月13日実施

【いのちの先生】

水井 雅子先生

・みずい母乳育児相談室 助産師

【授業の概要】

- 1 担任の話（導入及び「いのちの先生」の紹介）
- 2 「いのちの先生」の話
 - (1) 生まれるいのちの話
 - (2) 紙芝居「生まれてきてくれてありがとう」
- 3 児童が取材してきた「自分の誕生にかかわる家族の話」の紹介
- 4 感想記入 家族への感謝のメッセージを「いのちのメッセージカード」に書く。

水井先生へ

助産師という仕事はすごくたいへんだけれど、やりがいのある仕事だと思います。こんな仕事は優しい人にしかできないと思います。赤ちゃんのことを、僕たちに詳しく教えてください、ありがとうございました。



大切ないのちを伝える

お父さんとお母さんからもらいたいいのち。いのちはお金よりも何よりも、もっともっと大切なものだと分かりました。ぼくも大人になって結婚して子どもを育てていのちを受け継いでいきたいです。

お父さん、お母さんへ

お父さんとお母さんがいたから僕は生まれてくることができました。水井先生のお話を聞いていると本当に生まれてきてよかったと心から思えるようになりました。本当にありがとう。

お母さんへ

僕を生んでくれたお母さんにとっても感謝したいです。お腹の中にいる時もたいへんだったと思うけれど、生まれてからもおしめをかえたり、おっぱいをあげたりしてたいへんだったと思います。でも、お母さんがとても心をこめて育ててくれたおかげで今まで無事に生きてこれ、ここまで大きくなれたと思います。本当にありがとう。

支えてくれている周りの人へ

おじいちゃんやおばあちゃん、お父さんやお母さん、お兄ちゃんや近所の人、学校の先生や友達・・・いろいろな人がいたから今の自分があるのだと思います。

いのちはたくさんの人の支えがあって受け継がれていくことが分かりました。いつもいつも支えてくださってありがとうございます。